

## 2026 年 年頭所感

新年あけましておめでとうございます。

2025 年は世界的な人手不足の深刻化や為替変動、地政学リスクによるサプライチェーン混乱など多くの課題に直面する中、日本経済は日経平均株価が史上最高値を更新し、企業業績も好調に推移するなど明るい兆しが見られました。

また、生成 AI の普及やクラウド技術の高度化により、IT 分野はかつてないスピードで進展し、企業における DX 推進を含む情報化投資の重要性が一層高まった一年となりました。

当社は 2026 年も引き続き IT による社会課題の解決を目指し、最新テクノロジーを活用した価値創造に挑戦しながら安定した事業基盤と DX 領域の拡大に努めてまいります。特に、生成 AI やクラウドサービスの活用を一層推進し、お客さまとの長期的な関係強化や経営戦略に直結した IT 支援を加速いたします。

さらに、7 月 1 日付で TIS と合併し「TISI 株式会社」として新たな一步を踏み出します。これにより、強固な経営基盤の構築と経営資源の最適配置を実現し、より高い企業価値の創出を目指してまいります。

本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

インテックはトランポリン日本代表オフィシャルトップスポンサーです。

株式会社インテックについて (<https://www.intec.co.jp/>)

お客さまの経営戦略に沿った情報化戦略の立案からシステムの企画、開発、アウトソーシング、サービス提供、運用保守まで、IT 分野において幅広く事業を展開しています。インテックは、1964 年の創業以来培ってきた技術力をもとに、AI、RPA 等のデジタル技術の活用や、新たな市場の創造にも積極的に挑戦しています。常にオープンな姿勢で、人、企業、社会を技術でつなぎ、自らも変革しながら「豊かなデジタル社会の一翼を担う」企業としてお客さまに新しい価値を提供していきます。

TIS インテックグループについて

TIS インテックグループは、国内外グループ 2 万人を超える社員が『IT で、社会の願い叶えよう。』を合言葉に、「金融包摂」「都市への集中・地方の衰退」「低・脱炭素化」「健康問題」を中心としたさまざまな社会課題の解決に向けて IT サービスを提供しています。デジタル技術を駆使したムーバーとして新たな価値を創造し、人々の幸せと持続可能な豊かな社会の実現に貢献します。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先

株式会社インテック テクノロジー&マーケティング本部 広報部 小川、長谷、稲垣

E-Mail : [press@intec.co.jp](mailto:press@intec.co.jp)